

# 日系アメリカ人のアイデンティティー に関する日米大学生の見解

カルメン・アルメンダリス & ジリアン・太田

アドバイザー:

齋藤-アボット佳子教授、関根繁子教授

# 概要

- 研究の重要性
- 研究質問
- 研究背景
- 研究方法
- 研究結果
- 結論
- 研究の限界点・将来の研究課題
- 参考文献

# 研究の重要性

- 私たちは日系アメリカ人である。
- 私たちは日本に留学したことがある。その時残った印象は、日本の大学生の日系アメリカ人に対する意識の低さだった。それに興味をそそられ、私たち日系アメリカ人のアイデンティティをもっと深く調べたいと思った。
- 日本語や日本文化を学ぶ経験と、自分の家族史を知る過程で、日米大学生の日系アメリカ人に関する見解に興味を持つようになった。
- この研究で発見したいことは
  - 日米の大学生は、日系アメリカ人のアイデンティティーについてどのような見解を持っているのか
  - 彼らの見解はどのような要因に形成されているのか

# 研究質問

1. 日米大学生は、日系アメリカ人のアイデンティティーについてどのような見解を持っているのか。
2. 日米大学生の日系アメリカ人のイメージ形成にはどのような要因が影響されているのか。

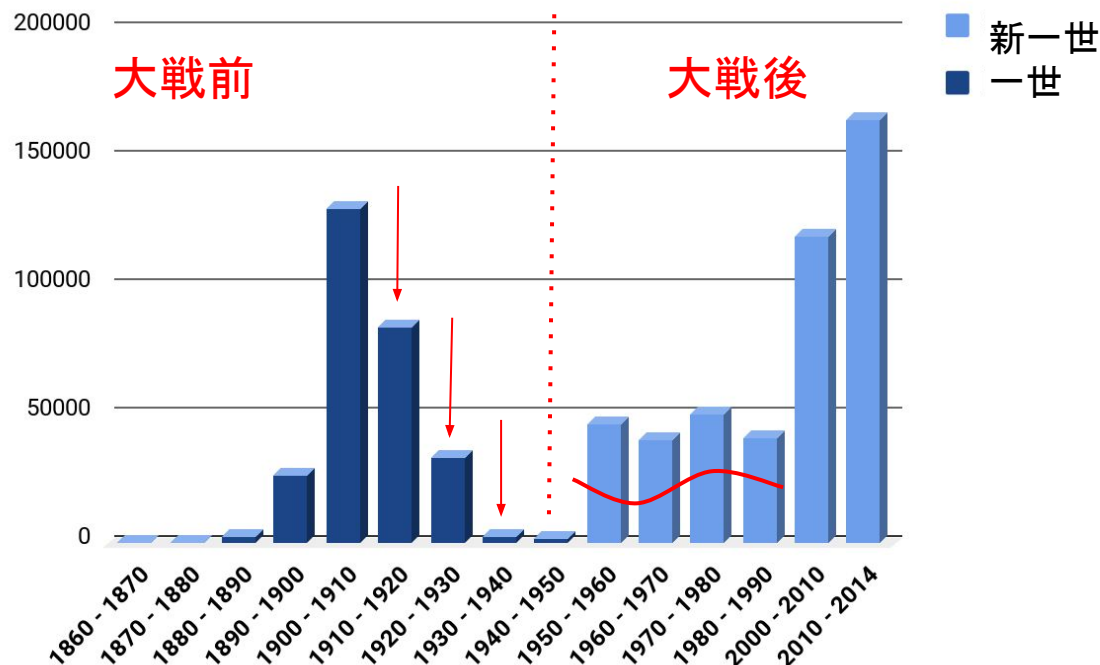
# 研究背景

- 日系アメリカ人に関する定義
- アメリカに移民した日本人の統計
- 新日系アメリカ人 移住者 (米国)
- **世代の差**
- アメリカ社会への同化
- 既成概念と差別 (米国)
- 日系アメリカ人の人口統計 (米国)
- 日系アメリカ人の日本社会への同化
- 既成概念と差別 (日本)
- 日系アメリカ人の人口 統計 (日本)
- 日系アメリカ人のイメージ
- 文化の価値観と特徴
- 国民的アイデンティティvs. 民族的アイデンティティ
- 日系アメリカ人のアイデンティティー

# 日系アメリカ人に関する定義

日系人	日本以外の国に移住し当該国の国籍という人 (津田 2009)
一世	第二次世界大戦の前、アメリカに移民した日本人 (新谷 2001)
二世	一世の子供たち (新谷 2001)
新一世	第二次世界大戦後、アメリカに移民した日本人 (津田 2009)

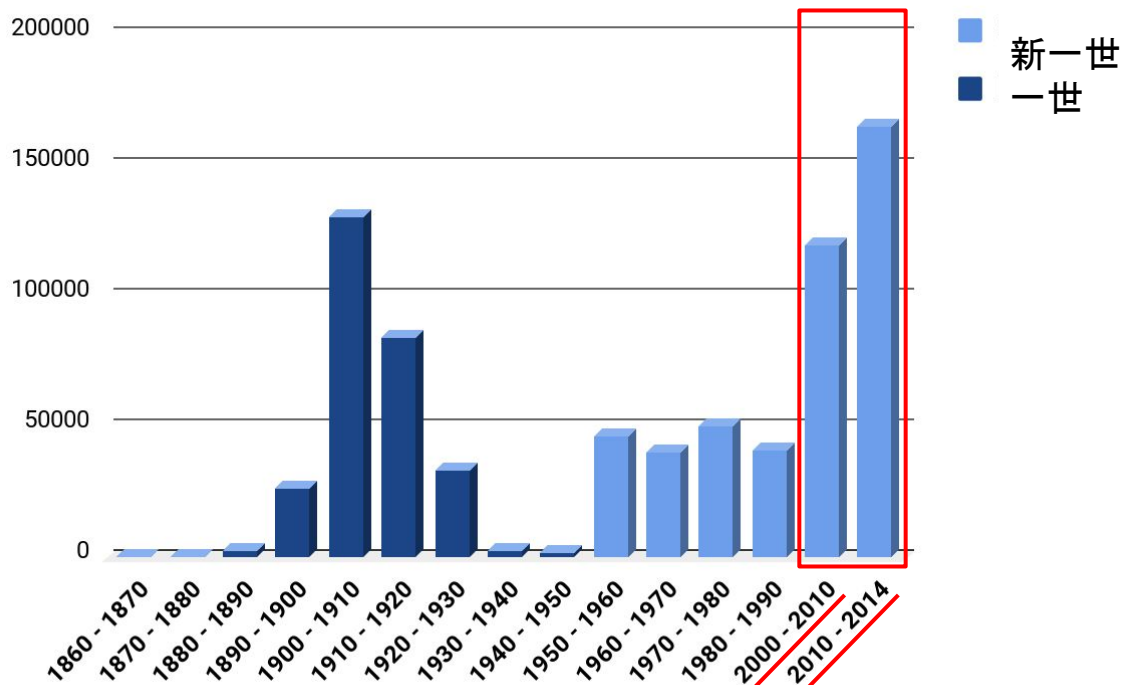
# アメリカに移民した日本人の統計



- 第二次世界大戦前と大戦中に一世の移民は急激に衰退した
- 第二次世界大戦後に新一世の移民の数はほぼ一定

# 新日系アメリカ人 移住者 (米国)

- 日本人移住者は2000年から急激に増大
- 前一世の人口より新一世の人口の方が多い



(スピッカード 1996; 日本の国勢調査 2017)



# 世代の差

第二次世界大戦前  
(1860年～1945年)

一世

新一世

第二次世界大戦後  
(1945年～現在)

二世

新二世

三世

新三世

- 収容所に収監された経験
- アメリカの文化に精通
- 肉体労働

- 収容所に収監された経験はない
- アメリカと日本の文化を理解
- 事務系の仕事

# アメリカ社会への同化 1

- 第二次世界大戦後、アメリカの主流社会に同化する事が重要
  - 学問で好成績を残すこと
  - 白人アメリカ人と結婚すること\*
    - アメリカ人との子供ができる (北野 1962、増田 1970)
- 日系アメリカ人の一世は大半、高校や大学を卒業

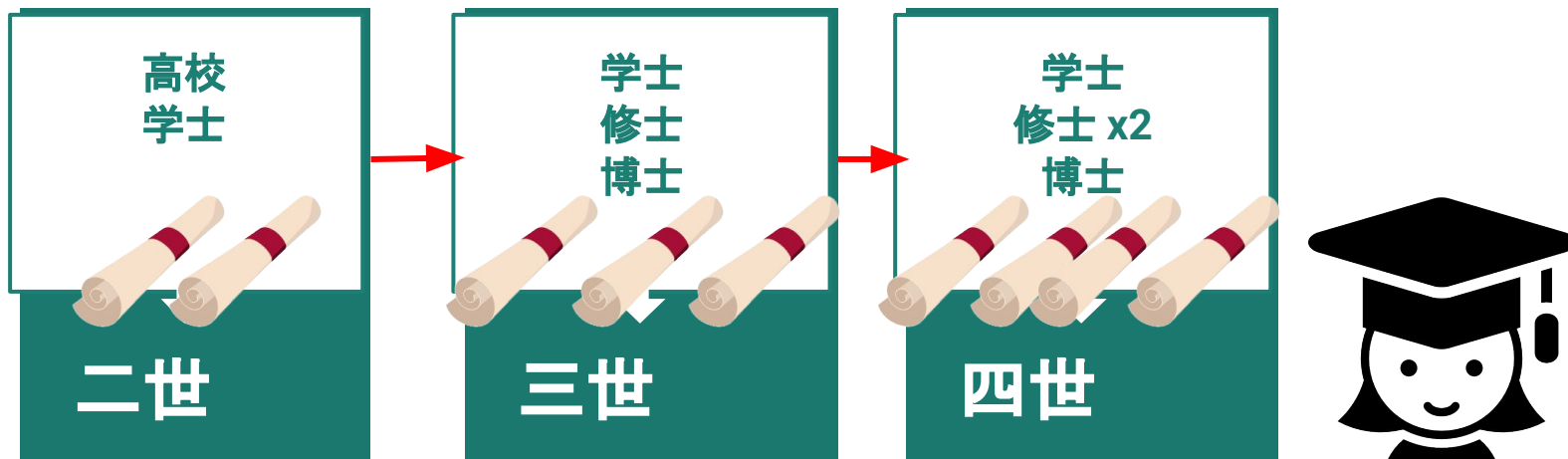
\* 1967年までに異種族混交は違法

(ハール 1997)

(増田 1970、マトバ-アドラー 1998)

## アメリカ社会への同化 2

- 日系アメリカ人はもっと深く同化すると...
  - 学業成績は高いとは言えない
  - 修士、博士等の学位を持つ人が増加



(北野 1962; 増田 1970; マトバ-アドラー 1998)

# 既成概念と差別(アメリカ)1

- 「モデル・マイノリティ」につけた見解

- アジア系アメリカ人は理想的なマイノリティ

- 第二次世界大戦後、日系アメリカ人は学問的な業績と財政的成功があった

- 日系アメリカ人は理想的な生徒

(ボラフィ2003)

- 勤勉
- 静か
- 利口



(北野 1962、新谷 2001、シム 1998)

## 既成概念と差別(アメリカ)2

### モデル・マイノリティ

- 学問に関する非現実的な期待がある
  - 期待にそえない学生へのサポートはあまりない
- キャリアでのガラスの天井
  - ある程度まで昇進するとそれ以上の昇進はできない

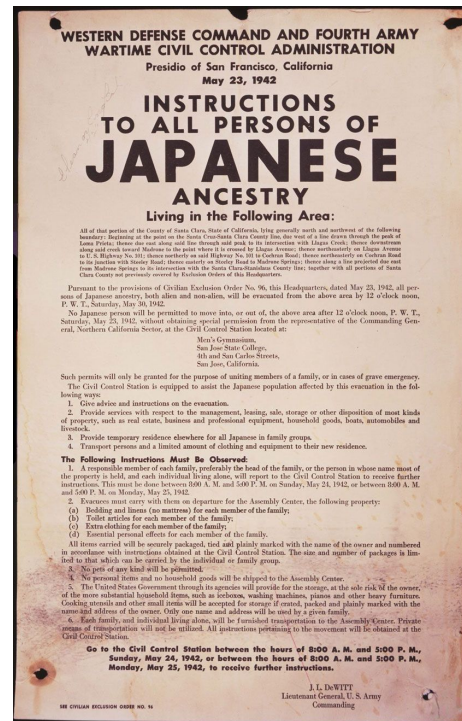


(新谷 2001、マトバ-アドラー 1997)

# 既成概念と差別(アメリカ)3

## アメリカ行政命令 9066(番)

- 1942年2月19日
- フランクリン・ルーズベルト大統領が発令
- 120万人の日系アメリカ人が強制収容所に収監された
- 主要な強制収容所施設は10箇所、仮設収容所は20箇所以上

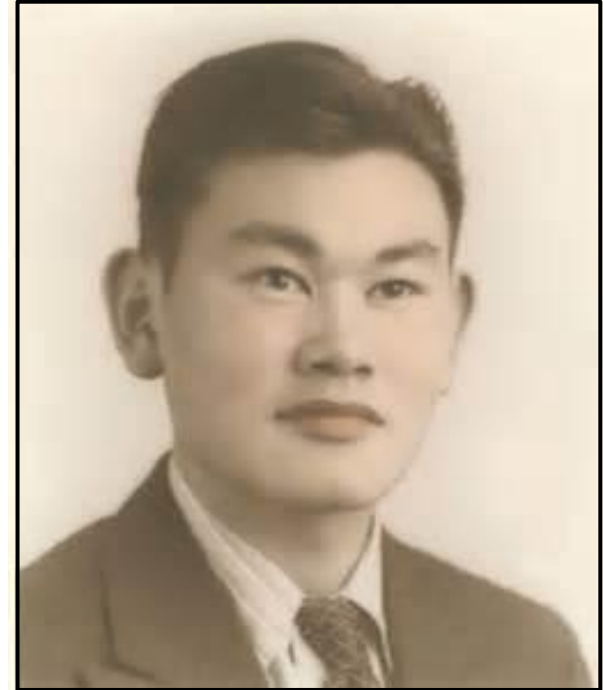


(新谷 2001)

## 既成概念と差別(アメリカ)4

### コレマツ 対 アメリカ最高裁判所 (1944年)

- フレッド・コレマツは行政命令 9066番に逆らった
- 1942年5月30日に、サン・リアンドロのカリフォルニア州で逮捕された
- 1942年9月8日に、アメリカ合衆国連邦裁判所でコレマツが囚人になった
- アメリカの最高裁判所に訴訟を起こした
  - 1944年12月、6対3でコレマツ敗訴



(“ライフタイム,” n.d.)

## 既成概念と差別(アメリカ)5



### 日系アメリカ人市民同盟は:

- アジア系アメリカ人のため公民権と人権を確保し保護する
  - 日系アメリカ人のコミュニティの継続を保つ
- 
- 疎外される全てのグループを擁護する



## 既成概念と差別(アメリカ)6

### ラヴィング対ヴァージニア州裁判(1967年)

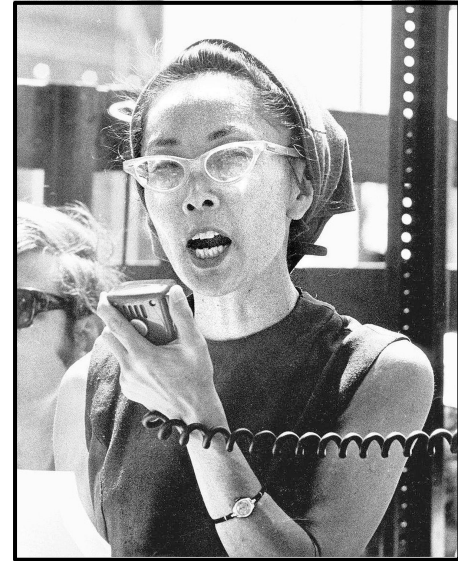
- 市民権に関する最高裁判所の大切な決断
  - 異人種間結婚を禁止している法律を無効にする
  - JACLが強く支持した
- 以前は、日系アメリカ人と白人の結婚は禁止されていた



# 既成概念と差別(アメリカ)7

## 市民自由法(1988年)

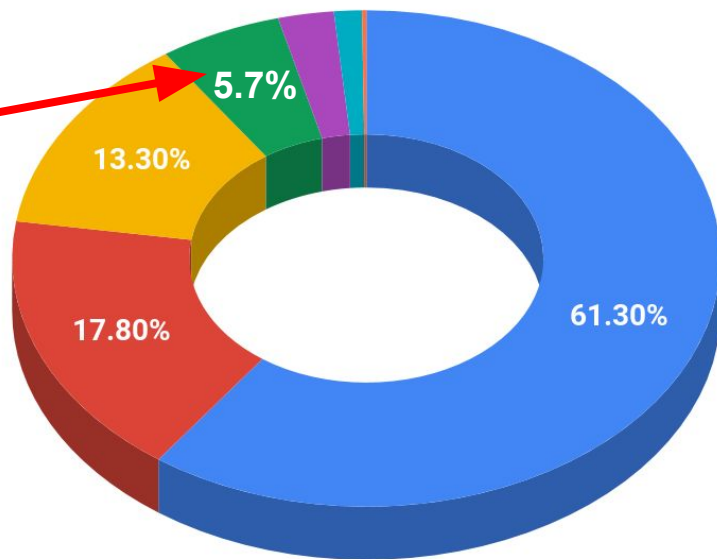
- アメリカの政府は第二次世界大戦中の日系人収容の償いのため、日系アメリカ人一人につき2万ドルを支払う
- JACLの活動家が市民自由法を支持し推し進めた



活動家: ユリ・コチヤマ

# 日系アメリカ人の人口統計(アメリカ)1

- White
- Latino
- Black
- Asian
- Mixed-Race
- Native American
- Pacific Islander



- アメリカの人口は、5.7%がアジア系アメリカ人
- 日系アメリカ人はアジア系日本人の中で6番目に位置する

(アメリカの国勢調査, 2016)



# 日系アメリカ人の日本社会への同化 1

- 流暢な日本語や多様な日本文化の知識の深さには関係ない
  - 他の日系人(日系ブラジル人、など)より、日系アメリカ人は日本社会に受け入れられやすい
  - 日本にいる日系アメリカ人は、自分のアメリカ人らしさを美点だと思っている
    - 日本人は米国に親近感を持っている
    - 米国に関してポジティブなイメージを持っている

## 日系アメリカ人の日本社会への同化 2

- 日本に住んでいる日系アメリカ人は
  - 日本滞在の一般的な理由は
    - 留学(高校、大学)
    - 事務系労働者(英語教師等)



# 既成概念と差別(日本)

- **いじめ**

- 理由は、
  - 日本語の能力の低さ
  - 日本の文化に関する知識のなさ (山城 2017)
- 「ウチ」と「ソト」の概念
  - 相手が自分と同じ内側に属しているのか外側に属しているのか、  
という心理的な状態を表す (大崎 2001)

- **白人アメリカ人が優先される**

- 英語の教師として雇用が優先される
  - 白人アメリカ人は自然に英語を話せるという認識が強い (津田 2009)

## 日系アメリカ人の人口統計（日本）

- 14年間日本在住の日系アメリカ人の人口と増加率

	日本でのアメリカ人の人口	日系アメリカ人の割合
2000年	44,856人	12.50%
2005年	49,390人	13.15%
2010年	50,667人	13.92%
2014年	51,256人	15.04%



# 日系アメリカ人のイメージ

**アメリカ:**

丁寧  
働き者  
単一民族



**日本:**

きれい  
バイリンガル  
ハーフ



(山城, 2017)

## 文化の価値観と特徴 1

「日本」の特徴	「アメリカ」の特徴
受けた恩を大切に思う	個人主義
義務を果たすことを大切に思う	平等
縦社会(階層)	人権
名誉を重んじる	自立
他人への依存度が高い	自己主張

## 文化の価値観と特徴 2

- この日本の概念は育児に影響する
- 日系アメリカ人に関する見解とアイデンティティに強い影響がある
- モデル・マイノリティという既存概念の始まりではないか

我慢 **GAMAN**  
**Patience**  
tolerance



頑張れ **GANBARE**  
**Perseverance**



遠慮 **ENRYO**  
**Restraint**  
modesty



# 文化の価値観と特徴

- 我慢、頑張る、遠慮、は自制心の要素
  - 日本の文化の基本
  - 下記の事を強調する
    - 良い労働倫理
    - 礼儀
    - 規則を順守

# 国民的アイデンティティvs. 民族的アイデンティティ<sup>1</sup>

## 国民的アイデンティティ:

- 国民グループと属しているという意識
- この人々は、自民族中心主義的な見解を持つ

## 民族的アイデンティティ:

- 民族グループと属しているという意識
- ふるまい、態度、価値観、が同化過程で大切な要因となる

## 国民的アイデンティティvs. 民族的アイデンティティ 2

### アメリカ人のアイデンティティ に対する認識:

- 白人
- キリスト教徒
- 英語を話せる
- アメリカ生まれ

(シース 2009)

### 日本人のアイデンティティに 対する認識:

- 単一民族
- 礼儀正しい
- 物静か
- 尊敬の念を持つ

(ヘンドリ 2006)

# 日系アメリカ人のアイデンティティー 1

## 日系アメリカ人のアイデンティティに影響する要素:

1. 容姿
2. 世代にわたる日本の隔たり
3. 日本語や日本文化に関する知識の有無

## 日系アメリカ人のアイデンティティー 2

- アイデンティティー・クライシス
  - 自己喪失
  - 二つの文化を持つ人と共通すること
  - どちらの文化に属するのかがわからない
  - 両国の文化に孤立感がある





# 日系アメリカ人のアイデンティティー 3

## アジア系アメリカ人のアイデンティティの3つの分類:

伝統主義者	マージナル・マン	アジア系アメリカ人
<p data-bbox="156 511 668 638">アジアの国のみに価値を見出す</p> 	<p data-bbox="707 511 1174 638">西洋の国のみに価値を見出す</p> 	<p data-bbox="1257 511 1721 638">両国の価値観を身につける</p> 

(スー&スー1971; スー&スー1972)

# 研究方法

調査の回答者: 大学生62名

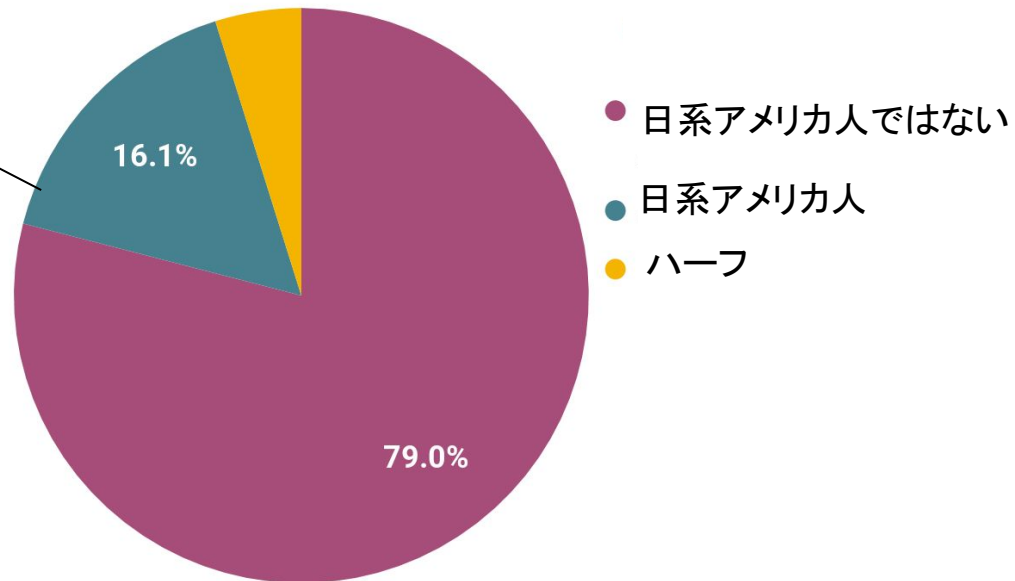
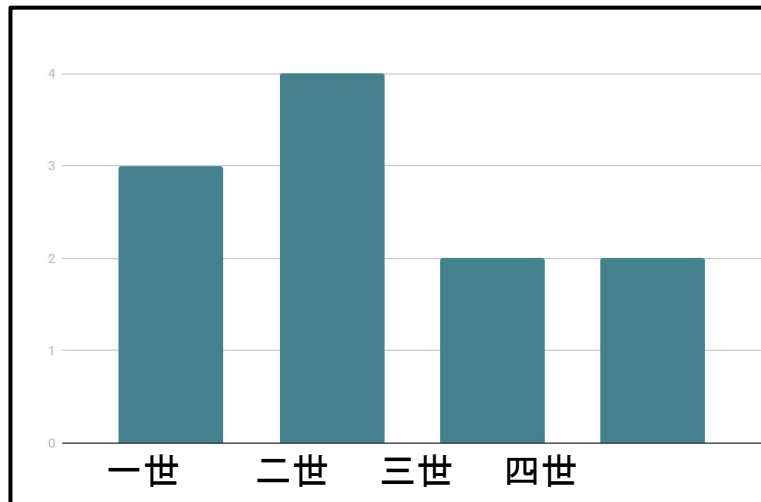
- アメリカの大学生32名
  - 女子20名、男子9名、その他3名
- 日本の大学生30名
  - 女子18名、男子12名

研究手段:

- ~~グー~~グル・フォーム ( [英語](#) / [日本語](#) )

# 回答者の日系アメリカ人の割合

世代:



62人の中で、10人が日系アメリカ人  
3人が「ハーフ」と回答

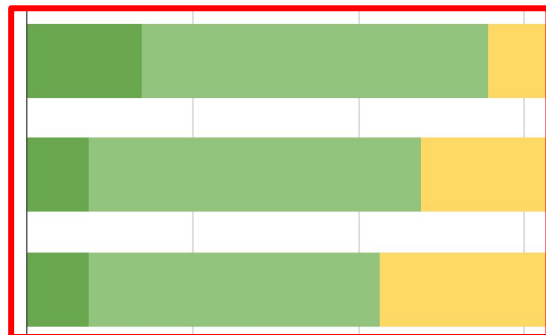
# 研究結果： 研究質問1

日米大学生は、日系アメリカ人のアイデンティティについてどのような見解を持っているのか。

---

# 既成概念

## アメリカ人



日系アメリカ人は働き者だ

日系アメリカ人は学問的に優れている

日系アメリカ人はそれぞれのキャリアで成功している

日系アメリカ人は経済的に大きな成功を収めている

0% 25% 50% 75% 100%

非常に正しい

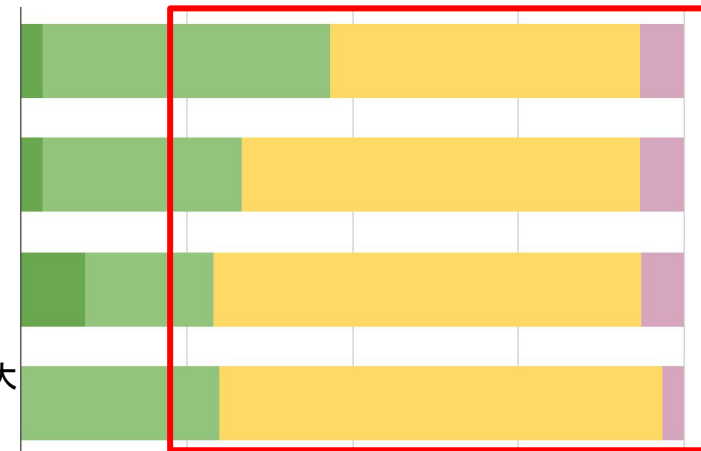
正しい

どちらでもない

正しくない

全く正しくない

## 日本人

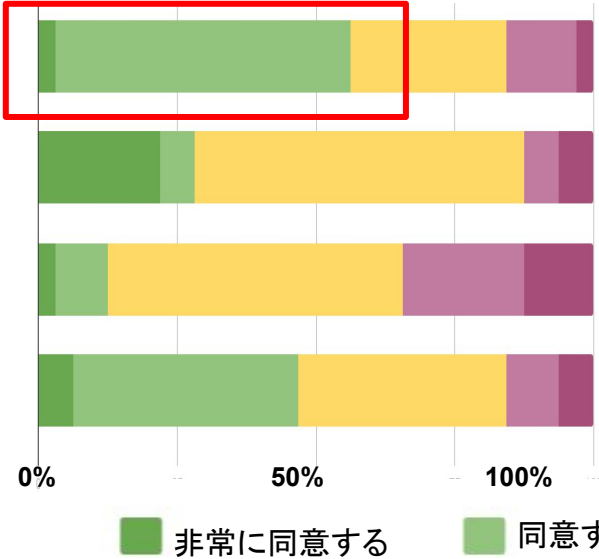


0% 25% 50% 75% 100%

アメリカの学生は日系アメリカ人は働き者、学問的に優れている、キャリアで成功している  
と思っているが日本人はどちらでもないを選んだ人が多かった

# 既成概念と差別

## アメリカ人



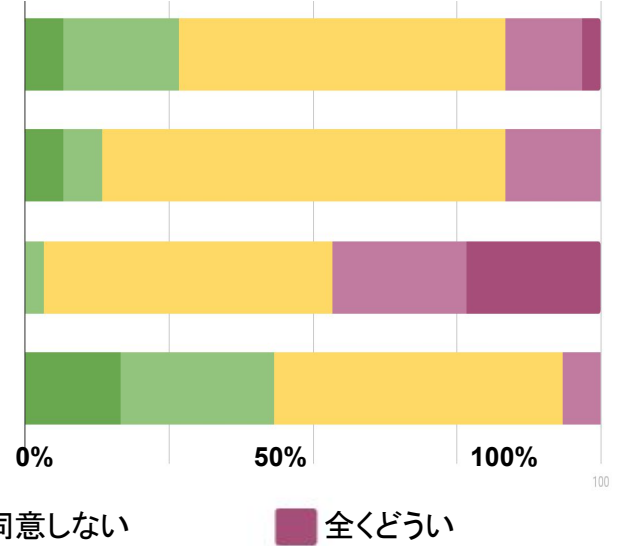
他のアメリカ人より、日系アメリカ人の方が礼儀正しい

他のアジア系アメリカ人より、日系アメリカ人の方がアメリカの文化に同化している

民族的・伝統的・文化的な価値観を保つために日系アメリカ人は日系人と結婚する傾向がある

日系アメリカ人は自分達の民族性に基づいて差別される事がある

## 日本人

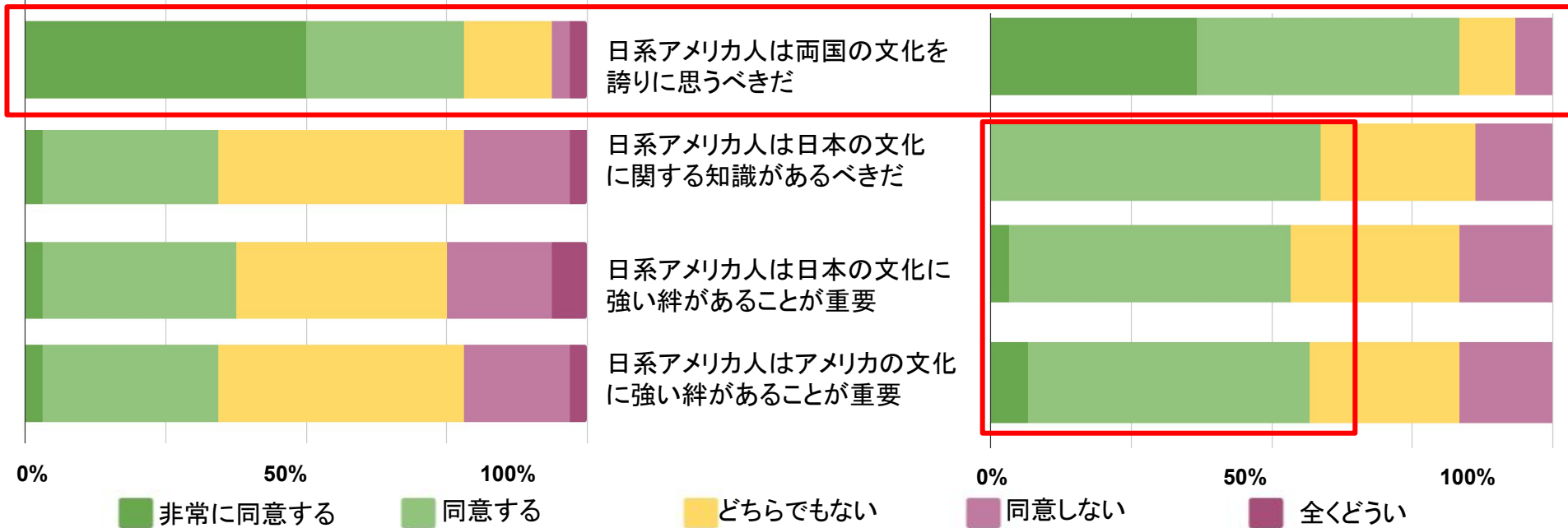


半数以上のアメリカの学生は、日系アメリカ人は他のアメリカ人より礼儀正しいと考えているが、日本の学生はどの項目もあてはまらないと思っている

# 文化

## アメリカ人

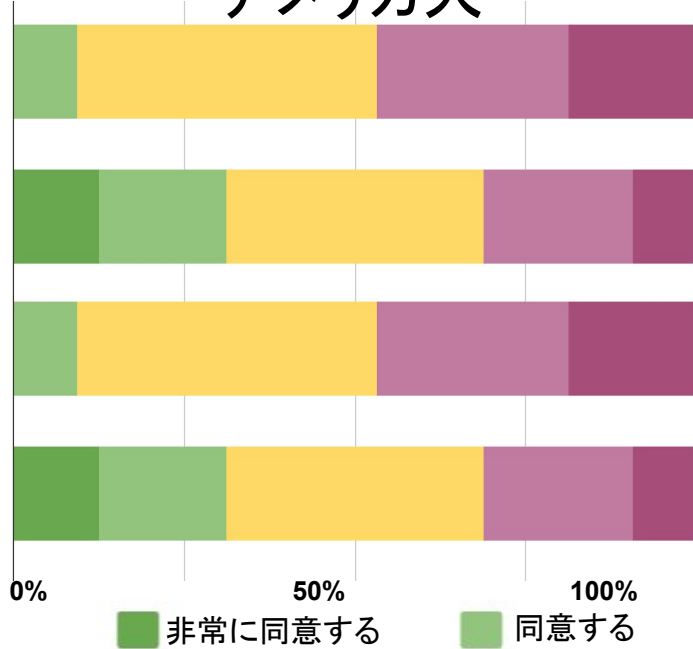
## 日本人



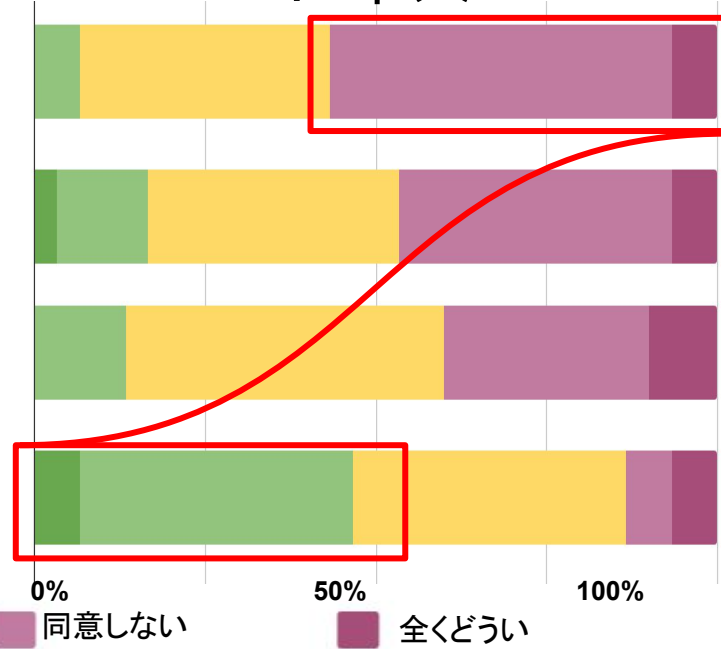
両国の学生共に日系アメリカ人は両国の文化を誇りに思うべきだと考えている。日本の学生の方が日系アメリカ人は日本とアメリカの両方の国の文化に強い絆があるという事が重要だと見ている

# 言語

## アメリカ人



## 日本人



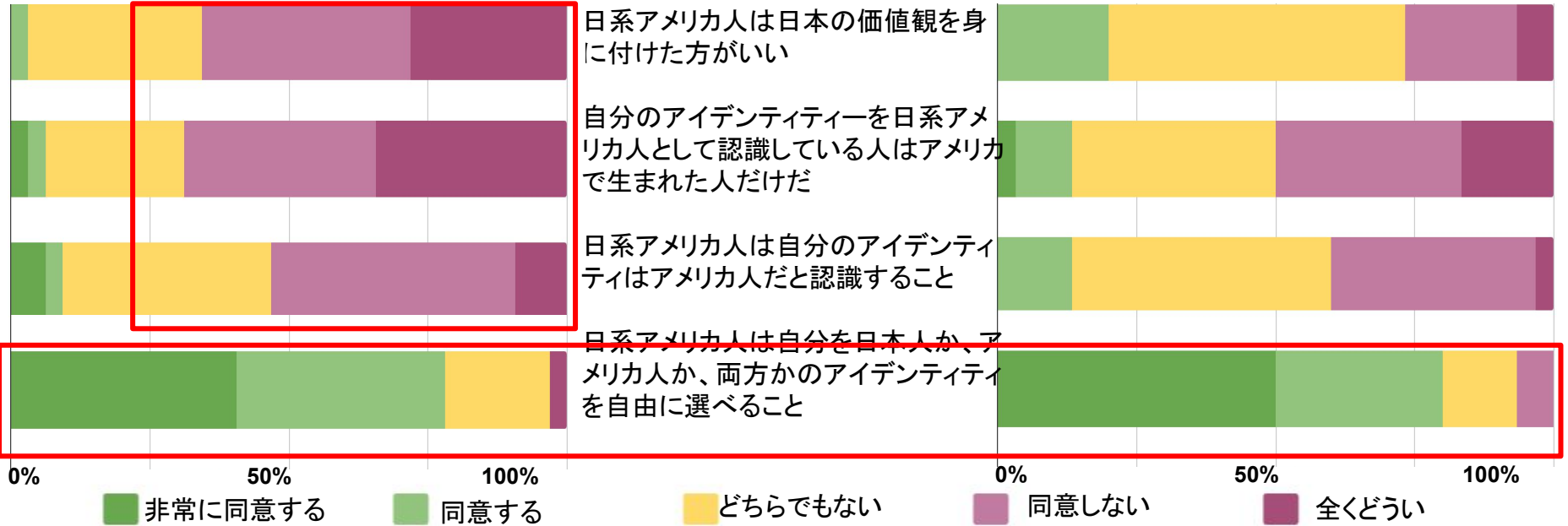
両国の学生とも日系アメリカ人は日本語と英語を流暢に話すことを重要だとは思っていない。しかし、日本の学生の方がアメリカの学生より日系アメリカ人は英語を流暢に話せるべきだと思っている。



# アイデンティティ

## アメリカ人

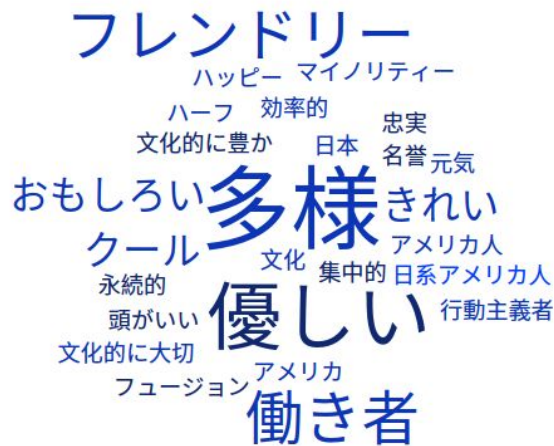
## 日本人



アメリカの学生は自分のアイデンティティはアメリカ人だと認識することに対して過半数が重要ではないと答えた。両国の学生は日系アメリカ人は自分のアイデンティティはアメリカ人として認識していることが非常に重要。また自分のアイデンティティを日系アメリカ人として認識している人はアメリカで生まれた人だけとは考えていない。

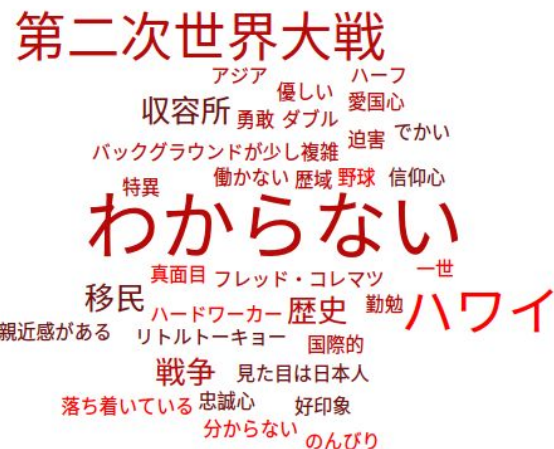
# 日系アメリカ人のことをよく表現するワードクラウド

## アメリカ人



A word cloud for Americans. The most prominent words are 'フレンドリー' (friendly), '多様' (diverse), '優しい' (kind), and '働き者' (hard worker). Other visible words include 'ハッピー', 'マイノリティー', 'ハーフ', '効率的', '忠実', '文化的に豊か', '日本', '名誉', '元気', 'アメリカ人', 'クール', '文化', '集中的', '日系アメリカ人', '永続的', '頭がいい', '文化的に大切', 'フュージョン', 'きれい', 'アメリカ', '行動主義者', '面白い', 'バックグラウンドが少し複雑', '特異', '働かない', '歴史', '野球', '信仰心', '真面目', 'フレッド・コレマツ', '一世', 'ハードワーカー', '歴史', '勤勉', 'ハワイ', '戦争', '見た目は日本人', '落ち着いている', '忠誠心', '好印象', '分からない', 'のんびり'.

## 日本人



A word cloud for Japanese people. The most prominent words are '第二次世界大戦' (World War II), 'わからない' (I don't know), and 'ハワイ' (Hawaii). Other visible words include 'アジア', '優しい', 'ハーフ', '愛国心', '勇敢', 'ダブル', '迫害', 'でかい', 'バックグラウンドが少し複雑', '特異', '働かない', '歴史', '野球', '信仰心', '真面目', 'フレッド・コレマツ', '一世', 'ハードワーカー', '歴史', '勤勉', 'ハワイ', '戦争', '見た目は日本人', '落ち着いている', '忠誠心', '好印象', '分からない', 'のんびり'.

アメリカの大学生が書いた言葉は「多様」、「優しい」、「働き者」で、日本人の大学生が書いた言葉は「わからない」、「第二次世界大戦」、「ハワイ」

## 研究質問1の結果

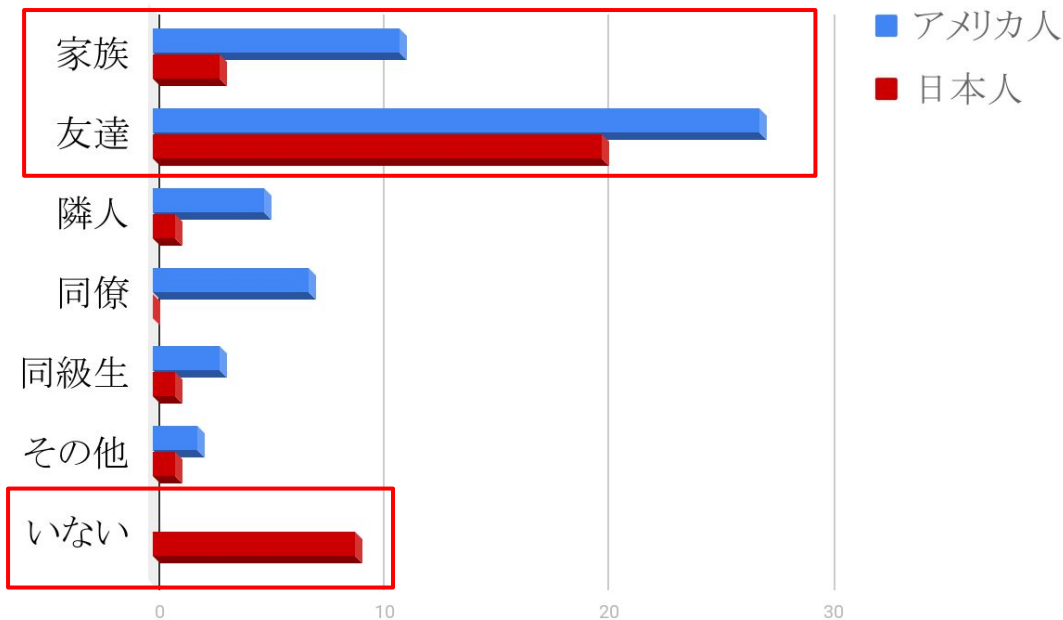
- 両国の学生は、日系アメリカ人は日本とアメリカのどちらの国の文化も誇りに思うべきだとしている。
  - また、アイデンティティは個人が自由に選べるべきだという見解を持っていることがわかった。
- 日本の学生は、日系アメリカ人は日本とアメリカの文化に強い絆を持っていることが大切だとしているが、アメリカの学生はあまり重要だとは思っていないこともわかった。
- アメリカの大学生は日系アメリカ人に肯定的なイメージを持っている。しかし日本の学生は日系アメリカ人のことをよく知らず、アメリカと日本の戦争に巻き込まれた日系アメリカ人の知識と繋がるようである。

# 研究結果： 研究質問 2

日米大学生の見解にはどのようなことが影響しているのか

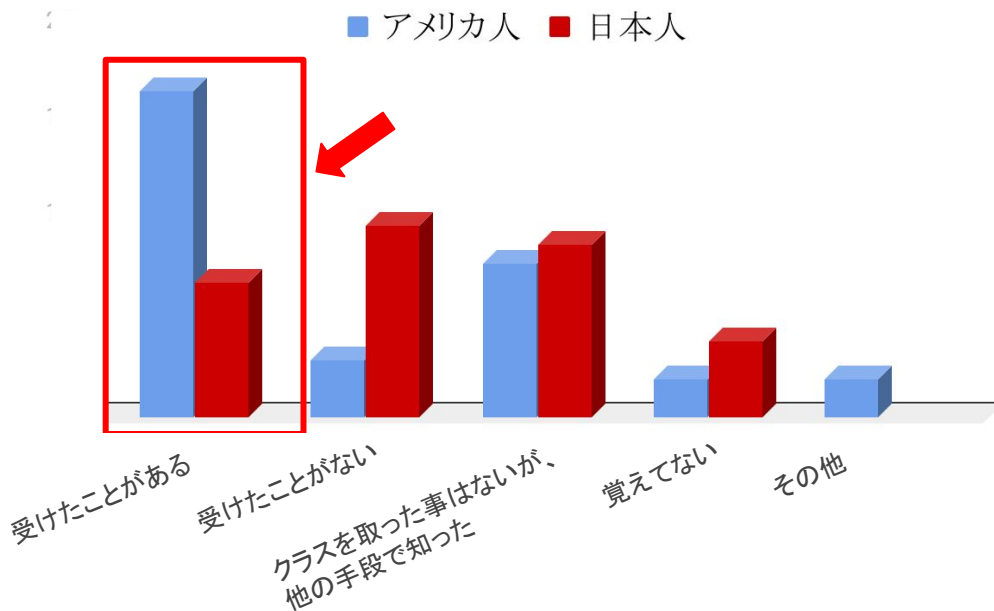
---

# 日系アメリカ人の知りあいがいる場合、その人(たち)とはどんな関係ですか。



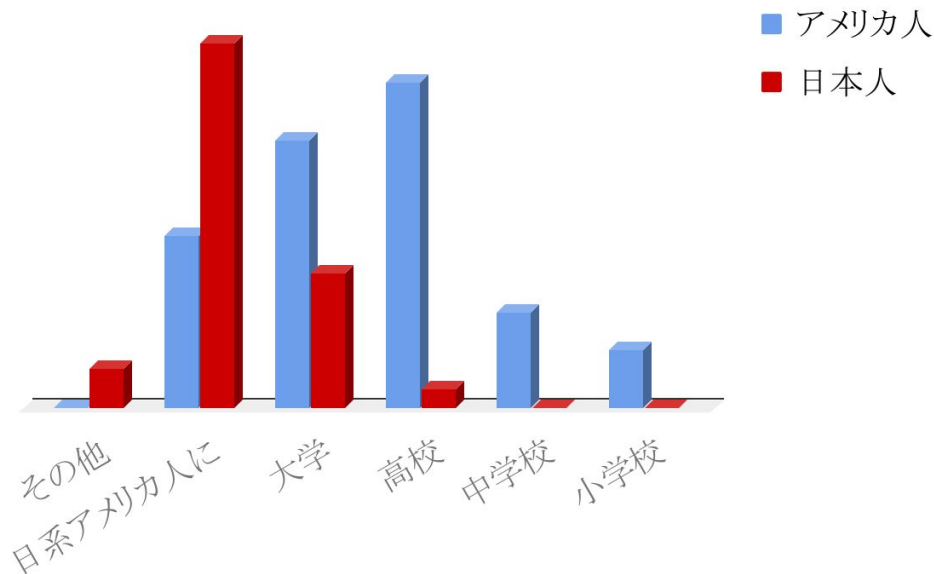
アメリカの大学生、全員が日系アメリカ人の知り合いがいると答え、日本の大学生は「いない」と答えた

# 日系アメリカ人の歴史、問題やアイデンティティに関する授業(幼稚園から大学まで)を受けたことがありますか。



ほとんどのアメリカの大学生は、日系アメリカ人について学んだことがあるが、日本の学生は学んだことがない。

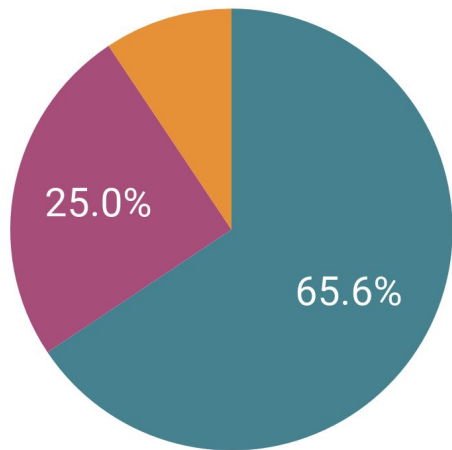
日系アメリカ人に関する授業を取った事があると答えた方は、いつそのクラスを取りましたか。



アメリカの大学生は、高校と大学で日系アメリカ人に関する授業を取ったが、日本の大学生はほとんど授業を取ったことがない

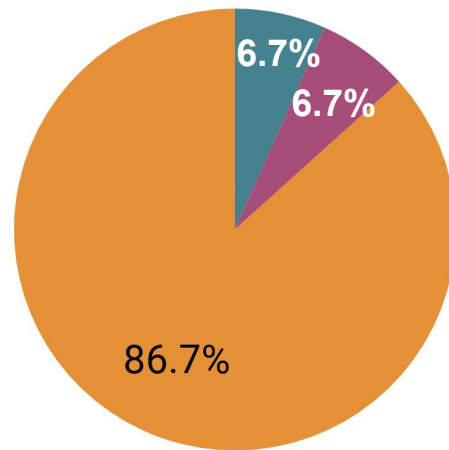
あなたは民族的多様性がある地域社会（外国から来た移民の人達も住んでいる区域）で育てられましたか。

## アメリカ



- はい、非常に多様な民族性があった
- はい、ある程度の多様な民族性があった
- いいえ、全く多様な民族性がなかった

## 日本

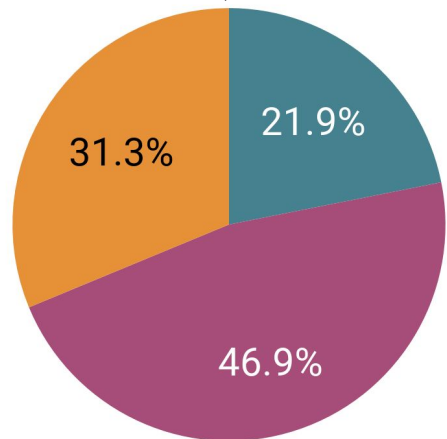


アメリカとはことなり、大多数の**日本の大学生**は民族的多様性がある地域社会で育っていないと答えた。



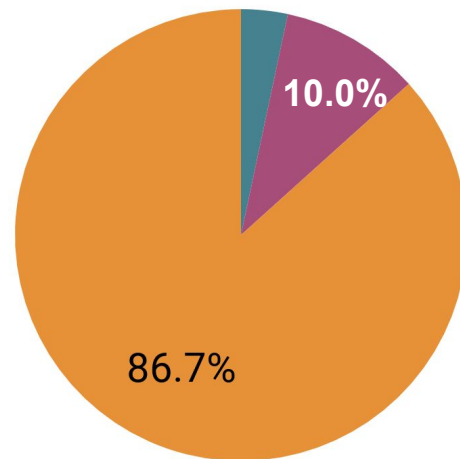
# あなたが育った地域には日系アメリカ人の人々が住んでいましたか。

## アメリカ



- はい、大勢の日系アメリカ人いました (11人以上)
- はい、何人かの日系アメリカ人の人(達)が住んでいました(1人~10人)
- いいえ、日系アメリカ人が全然いなかった

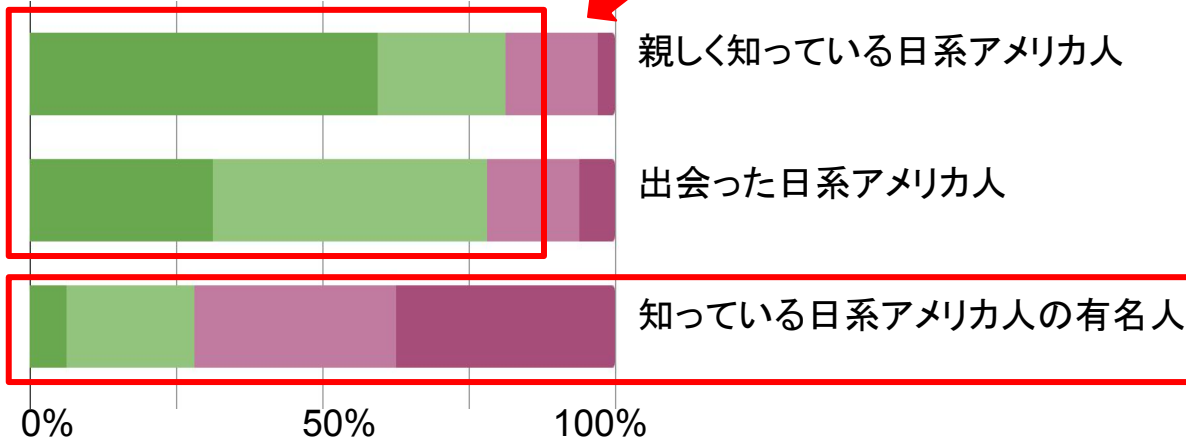
## 日本



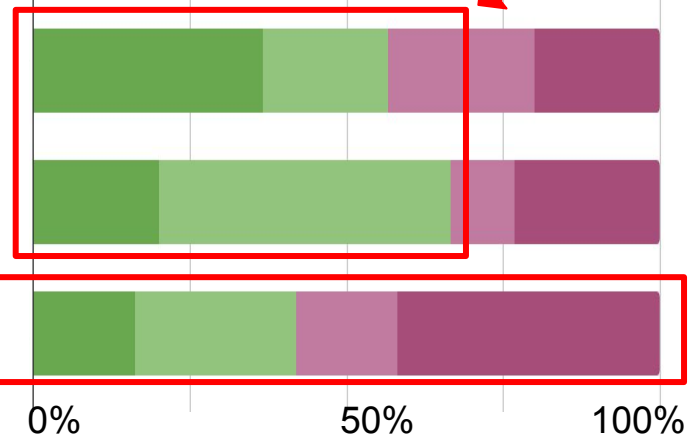
ほとんどの日本の大学生は育った地域には日系アメリカ人が住んでいなかったと答え、7割のアメリカの大学生は住んでいたと答えた。

# 日米大学生の日系アメリカ人のイメージ形成にはどのような要因が影響するのか。

## アメリカ人



## 日本人

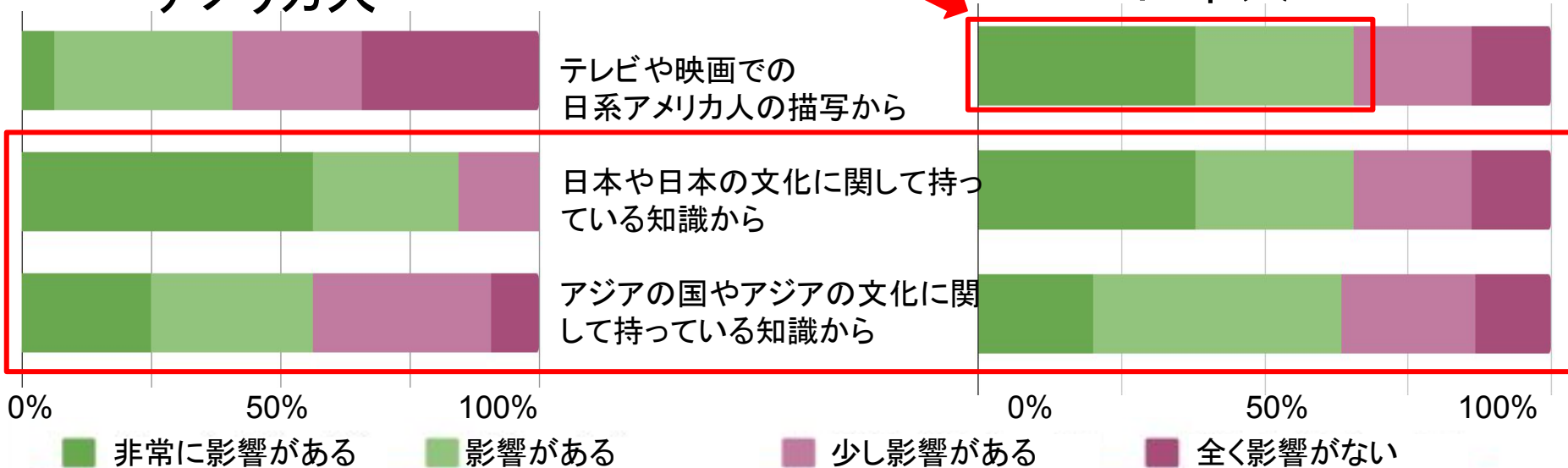


両国の学生は日系アメリカ人のイメージは知っている人、出会った人から形成されている。  
有名人からの影響はあまりない。

# 日米大学生の日系アメリカ人のイメージ形成にはどのような要因が影響するのか。

## アメリカ人

## 日本人



両国の大学生は、日本やアジアの国の文化に関して持っている知識が影響していると答えた。また、日本の大学生の方がテレビや映画での日系アメリカ人の描写から影響を受けている

## 研究質問2の結果

- 両国の大学生の日系アメリカ人への見解は知っている日系アメリカ人から形成され、また持っている日本の文化からも影響される。
- アメリカには身近に日系アメリカ人がいるため彼らから学ぶ機会も多い、また、学校でも日系アメリカ人の歴史等から学ぶ
- 日本の学生は日系アメリカ人に会うことも彼らの歴史も学ぶ機会はありません。そのため、日本の学生の知識、イメージはメディア(テレビのドラマや映画等)からである

# 結論と考察

- アメリカの大学生は日系アメリカ人に対しての偏見はない。また日系アメリカ人に対する「既成概念」や「差別問題」に関する知識も多い
  - 日系アメリカ人の歴史について学校で学んだ事がある
  - アメリカは多文化社会である現実
    - 異文化理解は大切だという認識や教育
- 日本の大学生は日系アメリカ人は日本とアメリカの両方の文化と繋がりがあるべきだという考えがある。
  - 日系アメリカ人の歴史は知っているが日系アメリカ人と接する機会もなくあまり知識がない。
  - 日本の大学生は一世日系アメリカ人の経験に集中しがちだが、もっと多文化に触れる色々な機会をつくり交流を深め日系人の多様性を理解してもらいたい

# 研究の限界点

- アメリカの大学生の回答者の大部分はカリフォルニアの出身
  - カリフォルニア州では日系アメリカ人が多い
  - カリフォルニア出身者は、リベラルな考え方の人が多く保守的な意見が少なかった

そのため、この研究結果は一般化できない

## 将来の研究課題

- 日系アメリカ人に限らずあらゆる日系人に関するアイデンティティーを追究したい
  - 日系メキシコ人
  - 日系ペルー人
  - 日系ブラジル人
  - 日系韓国人等

# 参考文献 1

- Bolaffi G., Et al. (2003). *Dictionary of Race, Ethnicity & Culture*. (Ed.). London, England: SAGE Publications Ltd.
- Goodman, R., Et al. (2003). *Global Japan: the experience of Japan's new immigrant and overseas communities*. London; New York: RoutledgeCurzon.
- Hall, R.E. (1997). *Eurogamy among Asian-Americans: a not on Western assimilation*. *The Social Science Journal*, 34(3), 403+ Retrieved from [go.galegroup.com/ps/i.do?p=AONE&sw=w&u=csumb\\_main&v=2.1&id=GALE%7CA19909460&it=r&asid=6824b0493a346495013bc76be57dee86](http://go.galegroup.com/ps/i.do?p=AONE&sw=w&u=csumb_main&v=2.1&id=GALE%7CA19909460&it=r&asid=6824b0493a346495013bc76be57dee86).
- History.com Staff. (2009). Japanese Internment Camps. Retrieved April 03, 2018. From <https://www.history.com/topics/world-war-ii/japanese-american-relocation>
- Hendry, J. (2006). *Understanding Japanese Society*. London; Routledge Currzon
- Kitano, H.L.. (1962). Changing Achievement Patterns of the Japanese in the United States. *The Journal of Social Psychology*, 58, 257-264.



## 参考文献 2

- Kuroki, M. (2013). 日系アメリカ人のアイデンティティー変容—エスニシティ、ジェンダー、国家を超えて—人間文化研究. 36, 79-95.
- Lie J. (2001). *Multiethnic Japan*. Cambridge, MA: Harvard University Press.
- Matoba Adler, S. (1998). *Mothering, Education and Ethnicity: The Transformation of Japanese American Culture*. Ng, F. (Ed.). New York, NY: Garland Publishing, Inc.
- Niia, B. (Ed.). (2001). *Encyclopedia of Japanese American History: An A-to-Z Reference from 1868 to the Present*. New York, NY: Facts on File, Inc.
- Okamoto, D. (2014). *Redefining Race: Asian American Panethnicity and Shifting Ethnic Boundaries*. New York: Russell Sage Foundation.
- Sellers, R.. (1998). *Multidimensional Model of Racial Identity: A Reconceptualization of African American Racial Identity*. *Personality & Social Psychology*, 2(1), 18-22
- Sellers, R.. (2013). The Multidimensional Model of Black Identity (MBBI). Measurement Instrument Database for the Social Science. Retrieved from [www.midss.ie](http://www.midss.ie)

## 参考文献 3

- Shim, D. (1998). From yellow peril through model minority to renewed yellow peril. *Journal of Communication Inquiry*, 22(4), 385+ Retrieved from [http://go.galegroup.com/ps/i.do?&id=GALE|A21171155&v=2.1&u=csumb\\_main&it=r&p=AONE&sw=w](http://go.galegroup.com/ps/i.do?&id=GALE|A21171155&v=2.1&u=csumb_main&it=r&p=AONE&sw=w)
- Theiss-Morse, E. (2009). *Who Counts as an American?: the Boundaries of National Identity*. Cambridge, NY: Cambridge University Press.
- Togami, C., & Hansen, A. (1993). *The Public Historian*, 15(1), 114-117. Doi: 10.2307/3378055
- Tsuda, T. (2003). *Strangers in the Ethnic Homeland: Japanese Brazilian Return Migration in Transnational Perspective*. New York, NY: Columbia University Press
- Tsuda, T. (2009). *Diasporic Homecomings: Ethnic Return Migration in Comparative Perspective*. Stanford, CA: Stanford University Press.

## 参考文献 4

- Tsuda, T. (2015). Recovering heritage and homeland: ethnic revival among fourth-generation Japanese Americans. *Sociological Inquiry* 84(4), 600-627 Retrieved from <http://onlinelibrary.wiley.com/doi/10.1111/soin.12095/full>
- Tsukuda, Y. (2017). 日本の大衆メディアにおける日系人の表象 成城法学. 教養論集, 27, 69-85. Retrieved from <http://ci.nii.ac.jp/naid/40007361796>
- Yamashiro J.H. (2017). *Redefining Japaneseness: Japanese Americans in the Ancestral Homeland*. New Brunswick, NJ: Rutgers University Press.

# 謝辞

- 齋藤-アボット先生
  - 関根先生
  - キャップストーンと同級生
  - 日米大学生の回答者
-

ご清聴ありがとうございました。

---